



1年生、次は被服検定4級にチャレンジ☆



前回の学科通信でお伝えしたように、生活科学科1年生は、3つの専門のコース（調理・生活福祉・保育）に分かれる前なので、全員が同じ授業を受け、調理実習・被服実習の基礎を学び、いくつかの検定に挑戦します。

今回は、1年生が1学期に行った、被服製作技術検定（被服検定）4級の様子についてお伝えします^^

今回の検定で2種類目となります！目指せ全員合格^^



被服検定4級では、「ミシン縫い」と「手縫い」に関する実技試験を行います。

「ミシン縫い」では、指示されたとおりに直線や角、曲線を縫い、三つ折り縫いも行います。

「手縫い」では、なみ縫いやまつり縫い、半返し縫いなどの基本的な縫い方とボタンつけを行います。



はじめに担当の先生の説明を聞いて、事前準備を行い、一斉にミシン縫いからスタートします。

ミシン操作に気をつけながら、素早く作業を進めていきます。

なお、制限時間は「ミシン縫い」と「手縫い」を合わせて35分となっています。



続いて、手縫いの様子です。ミシン縫いが終わり次第取りかかります。

手縫いをするときは、縫い方によって針の刺し方や糸を通す間隔が異なります。また、細かい作業となるため、ミシン縫いに比べて時間がかかります。時間内に終われるように頑張ってください！

1年生の皆さん、慣れない作業で苦労している生徒もいましたが、被服検定はどうでしたか？結果は生活科学科1年生36名全員合格でした！おめでとうございます^^

2年生に進級したら被服検定3級を受検しますよ！

